



新川 一樹

マムシは北海道から九州まで広く分布し、水場や草むらによく現れます。隠れるのが得意で、おとなしく、じつとしていることが多いので注意していないと気付かず、刺激を与えない限り攻撃してくることもありません。

しかし知らずに踏ん

でしまつとかみつくとがあります。そのため、突然「痛い！」と感じただけで何が起きたのか分からないこともあり

ます。痛む場所に一つの歯形が残っていたればマムシにかまれた可能性があり、30分以内に患部が腫れてきたら間違いありません。姿が確認できなくても、「へびらしきものにかまれて急に腫れてきた」場合は「マムシにかまれた」と思ってください。

### 強い痛みと腫れ

マムシによる咬傷は

~~~~~

救急科副部長、救急センター科長、四肢外傷・機能再建センター科長 〓 専門は救急科

## マムシ咬傷



## かまれたらすぐに病院へ

国内で年間3千例以上の発生しているとされ、数件の死亡も報告されています。当院では年間数人の患者さんを治療していますが、幸い死亡例や重症例は出ていません。

もしマムシにかまれたら、すぐに病院を受診してください。抗マムシ血清は6時間以内の投与に効果があるとされ、早期に投与する必要があります。当院では必要があるからです。応急処置をする余裕があれば、流水でよく洗い、受傷直後なら毒を絞り出すと効果的です（口で吸うのは毒を飲み込む恐れがあるので控えてください）。

かまれた所より心臓に近い場所を圧迫してください。皮下静脈さえ圧迫すれば全身に毒素が回ることを防げるので、軽い圧迫で十分です。

も後で重症化することもあるため、原則、入院で経過を観察します。抗マムシ血清は馬の血清から作られるため、アレルギー反応が出ることもあります。そのため、投与はメリットとデメリットを勘案して慎重に判断します。適切な輸液と注意深い観察の結果、局所の腫れのピークが過ぎて血圧低下や腎不全など合併症の恐れがなくなれば、退院できます。

マムシ毒は出血毒といわれ、かまれると患部の強い痛みと内出血を伴う腫れが現れ、徐々に中枢へ広がります。重症例では出血、血圧低下、急性腎不全となり亡くなる場合があります。小さな子どもや高齢者は重症化するリスクが高いため、注意が必要です。

### 慎重に経過を観察

最初は症状が軽くて

マムシ咬傷による死亡例は少なく、多くは自然治癒しますが、かまれないことが重要です。マムシがいそうな草むらに入るときは、厚手の靴やスポンをはくようにしましょう。